

7月定例教育委員会会議録

1 開催日時

平成25年7月16日（火） 午後1時～午後2時

2 場所

鳥取県庁第2庁舎5階 教育委員会会議室

3 出席委員

中島諒人、坂本トヨ子、笠見幸子、若原道昭、松本美恵子、横濱純一（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職

教育次長 生田文子、参事監兼高等学校課長 山根孝正、
教育総務課長 森田靖彦、教育環境課係長 田中宏子、
小中学校課長 石田明広、特別支援教育課長 足立正久、
いじめ・不登校総合対策センター長 松岡一、
教育センター副所長 福本慎一、家庭・地域教育課長 宮城絵理、
図書館長 高橋紀子、人権教育課課長補佐 鳥飼敏博、
文化財課長 上山憲二、博物館長 山内有明、
スポーツ健康教育課長 吹野英明、教育総務課参事 木本美喜、
教育総務課参事 谷和敏

6 会議

1時、中島委員長が開会を宣言した。

(1) 日程説明

森田教育総務課長が本日の日程を報告。

(2) 一般報告

横濱教育長より、倉吉市立小鴨小学校・倉吉西中学校への学校訪問、鳥取市立南中学校教室棟竣工式、青翔開智中学校・高等学校への訪問、米子市立義方小学校・後藤ヶ丘中学校・加茂中学校への学校訪問、鳥取市立城

北小学校・桜ヶ丘中学校への学校訪問、秋田県由利本庄市・大仙市の小中学校への学校訪問、宮城県石巻市の教育委員会と小学校への訪問、青谷高校・倉吉総合産業高校への学校訪問、国体のカヌー選手への激励、第95回全国高等学校野球選手権記念鳥取大会開会式、国体の弓道・セーリング・レスリング選手への激励、大雨による災害対策本部設置等について報告があった。

(3) 議事

・議案第1号 平成24年度教育行政の点検及び評価について

木本教育総務課参事より、平成24年度教育行政の点検及び評価について説明があった。教育行政の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第27条に基づいて、効果的な教育行政の推進や、県民への説明責任を果たすものとして毎年度行っているものであり、内容としては教育委員会の活動状況と、取組の点検・評価、条例、規則の制定・改廃、附属機関の開催状況等で構成されている。教育委員会制度の意義や特性を踏まえた項目について、教育委員会の活動に対する自己評価を実施し、今年度初めて、委員の意見をまとめて「教育委員会運営の改善点」という項目を作成している。教育振興計画の63項目の「目指すところ」への到達状況について、AからDの4段階で評価している。この教育行政の点検及び評価については、ホームページで公開する旨の説明があった。

次いで、審議が行われ、横濱教育長、中島委員長、笠見委員によりホームページ公開の方法について、議会への報告日程について、子どもたちに成果が出るような事業への一層の取組みについて、事業は数多くあるがもっと重点的でもよいのではないか等の質問、意見があり、木本教育総務課参事より現状や対応方法について説明があった後、議案第1号は原案のとおり可決された。

議案第2号及び議案第3号については、人事に関する案件のため、非公開と決定された。

[非公開]

・議案第2号 公立学校教職員の懲戒処分について

山根参事監兼高等学校課長より、公立学校教職員の懲戒処分について説明があった。

次いで審議が行われ、議案第2号は原案どおり可決された。

[非公開]

・議案第3号 公立学校教職員の懲戒処分について

山根参事監兼高等学校課長より、公立学校教職員の懲戒処分について説明があった。

次いで審議が行われ、議案第3号は原案どおり可決された。

・報告事項ア 平成25年度鳥取県教科用図書選定審議会の答申について

足立特別支援教育課長より、平成25年度鳥取県教科用図書選定審議会の答申について説明があった。平成25年4月26日付けで諮問のあった、平成26年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について、(1)特別支援学校の小学部及び中学部においては「特別支援学校用教科書目録(平成26年度使用)」に搭載された教科書のうちから採択する。(2)学校教育法附則第9条の規定による教科書の採択については、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づいて、児童生徒の障がいの実態等を十分考慮しながら採択する。(3)小学校及び中学校の特別支援学級について、小学校においては平成23年度、中学校においては平成24年度に採択されたものと同じの教科用図書とする、という3点の答申が出された。また、平成26年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料については、このたび、知的障がい用の資料として、新たに15冊の資料をつくっているほか、県の設置する義務教育諸学校(県立特別支援学校)において使用する教科用図書の採択については、各学校における児童・生徒の障がい等の実態に応じて最も適切と思われる教科用図書を選定し、審査・決定するようという答申があった旨の説明があった。

・報告事項イ 平成25年度科学の甲子園ジュニア県大会の実施について

石田小中学校課長より、平成25年度科学の甲子園ジュニア県大会の実施について説明があった。県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することを目指して、鳥取県では初めて、中学生を対象にした「平成25年度科学の甲子園ジュニア県大会」を8月20日に鳥取環境

大学において開催する。参加対象者は県内中学校の1・2年生で、現在18校・42チームが参加予定であり、競技については筆記競技と実技競技を行い、各出場チームが課題を分担、相談するなど協働して、その成果を競い合う形式のものとする。また、筆記・実技競技の合計得点が高かった上位2チームには、12月21日（土）から22日（日）に東京で行われる「科学の甲子園ジュニア全国大会」への出場権を与える旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、横濱教育長、中島委員長より、全国大会の開催についてや、県大会参加人数に対する評価について、また参加数や全国大会への交通費などの費用負担についての質問、意見があり、石田小中学校課長より現状と今後の対応について説明があった。

・報告事項ウ 鳥取県立図書館「ふるさと鳥取コーナー」の開設について

高橋図書館長より、鳥取県立図書館「ふるさと鳥取コーナー」の開設について説明があった。鳥取県の優れた文学をはじめとする文化、自然、歴史、人物等に関する図書を利用者の方によりわかりやすい形でテーマごとに展示し、ふるさと鳥取県に誇りと愛着を持つ県民を次代に受け継いでいくことができるよう、鳥取県立図書館2階郷土資料室をリニューアルし、「ふるさと鳥取コーナー」を開設した。開設記念行事として7月5日（金）にオープニングセレモニーが行われ、記念企画展示「ふるさと鳥取情報展2013～鳥取の昔と今」や、小・中・高校生の郷土に関する自由研究優秀作品展等が開催されている旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、笠見委員より、文学コーナーが非常に良いという意見があり、高橋図書館長より、マスコミからの反響も多く、また、パネルがあるから非常に見やすいという感想をいただいているとの報告があった。

・報告事項エ 鳥取県育英奨学生（高校分）の採用状況について

鳥飼人権教育課課長補佐より、鳥取県育英奨学生（高校分）の採用状況について説明があった。本年4月から貸与を開始する育英奨学資金の在学採用（高校分）について、6月19日（水）に鳥取県育英奨学生選考委員会を開催し、奨学生の決定を行った。高校生の育英奨学生については年2回の募集と決定を行っており、合計576人に今年度の貸与を開始した。近年の採用状況としては、高校生の数の減少に伴って奨学生の採用数も減

っているが、申請した生徒全員が奨学生として採用されているので、高校生については希望者すべてに奨学金の貸与が行われている旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、中島委員長より、新規貸与枠に対する申込者の人数について質問があり、鳥飼人権教育課課長補佐より、現状について説明があった。

・ **報告事項オ～クについては、資料配布のみとし説明は省略することとなった。**

・ **その他**

その他として、中島委員長、横濱教育長より中学校訪問についての報告があり、笠見委員、松本委員、中島委員長、横濱教育長により、学校現場の現状とこれからの対応、市教委との連携、教室の備品の改善等について話し合われた。

中島委員長が閉会を宣言し、7月定例教育委員会を閉会した。